

～平成30年度主要施策～

第5次総合計画、 まち・ひと・しごと創生総合戦略将来像

清流木曾川に抱かれた“ひと・まち・自然”輝く創造文化都市

1 町民の生命と財産を守る強いまちづくり

ハード・ソフトの両面から防災・減災事業を積極的に進め、地域と連携した防災体制の強化を図ります。

主な事業

防災行政無線管理事業 1,054万円

災害時や有事発生の際に有力な情報伝達手段となる全国瞬時警報システム(Jアラート)の機能拡張に伴い、増加する情報処理量に対応した新型機器へ更新します。

地籍調査事業 185万円

大規模な災害発生時に迅速な復旧ができるよう、土地の境界を明確にする地籍調査事業を継続で実施します。

防災備品管理事業 360万円

笠松町地域防災計画に基づき、避難所生活時に必要な備蓄品のアルファ米や飲料水などを更新します。

排水路改良事業 653万円

ゲリラ豪雨などの水害対策として、平成24年度より進めている笠松町流域関連公共下水道雨水計画を継続させ、雨水貯留施設の整備を進めます。

自主防災組織育成事業 101万円

各地域の自主防災会が資機材を整備する事業に対し、財政支援を行います。また、地域防災リーダーを育成するため防災士の資格取得に対し助成を行います。

地域生活安全推進事業 5万円

防災対策の強化として、青色回転灯装備車を活用したパトロールを実施し、安全で安心して暮らせるまちを築いていきます。

